

【豊後高田・中津】豊後高田市見目の長崎鼻リゾートキャンプ場や中津市三光佐知の畑で、ヒマワリが見頃を迎えている。

同キャンプ場には15畝に150万本が植えられている。指定管理者のNPO法人「長崎鼻B・Kネット」の近藤哲憲理事長(73)によると、梅雨時期に雨が少なく種まきが順調に進んだため、例年より早く開花したという。

海を望む岬で、風に揺れる大輪の花が人々を楽しませている。6日に訪れた会社員三代武さん(32)＝大分市千代町＝は「初めて来たけど、想像していたより広くてびっくりした。海の青とヒマワリの黄色のコントラストがきれい」。

同キャンプ場は今月末まで、願い事を書いてもらったハンカチを飾る「幸せの黄色いハンカチ」キャンペーンを実施している。場内の食堂で食事をするか、300円でハンカチを購入した人が対象。

「開花期間が長いので、3密を避けて楽しんでもらいたい」と近藤理事長。

中津市三光佐知のヒマワリは地域の夏の顔としてすっかり定着し、今年も30畝の畑に約5千本が咲いた。

6月中旬の種まき後、順調に生育。今月に入り、少しずつ開花し始めた。盆ごろまで楽しめそう。

種まきに参加した真坂小4年の川村将平君(9)は「僕の背より大きい。いつも通り咲いて良かった」。

栽培は、地元の地域おこしグループ「竹馬会」(豊武富夫会長)が主導。東日本大震災からの復興を支援する「福島ひまわり里親プロジェクト」の一環で、2011年から続けている。後日、種を収穫して福島県に送る予定だ。豊武会長(65)は「台風が心配だが、折れずに元気に咲き続けてほしい」と話している。

(大崎優志、吉田美佳)



①大輪のヒマワリが見頃を迎えた長崎鼻リゾートキャンプ場＝豊後高田市見目
②今年も元気に咲き始めた三光佐知の畑のヒマワリ＝中津市